

葉面濡れセンサー 取扱説明書



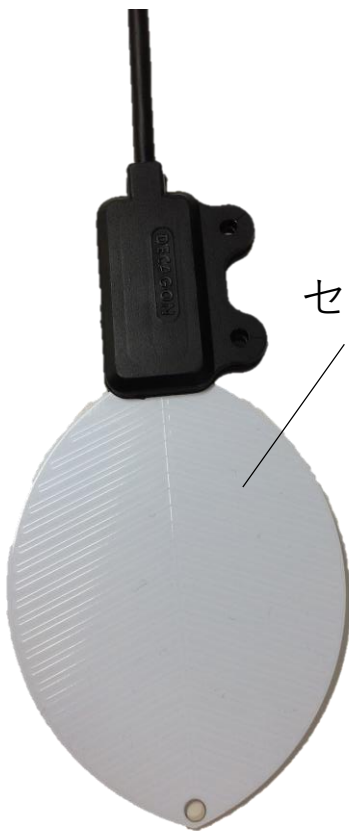
葉面濡れセンサー 取扱説明書

概要

葉面濡れセンサーは、センサー表面の誘電率を測定することにより、葉表面の濡れを測定します。葉面濡れセンサーは、センサー表面から約1 cmの範囲の誘電率を測定します。誘電率は、センサー表面の水、あるいは氷の量に比例します。

このセンサーは、熱的、放射的に実際の葉の特徴を模しているので、葉と同じ環境に置くことにより相対的な結露量を測定することが可能になります。

(表)



センシングエリア

(裏)



プローブセンサー図

葉面濡れセンサー 取扱説明書

仕様

寸法	: 11.2 × 5.8 × 0.075 cm
センサー長さ	: 5.2 cm
ケーブル長	: 5 m
動作環境	: -20~60°C

測定対象		仕様
分類	項目	測定範囲
葉面濡れセンサー	濡れ検出カウント値	400~1000

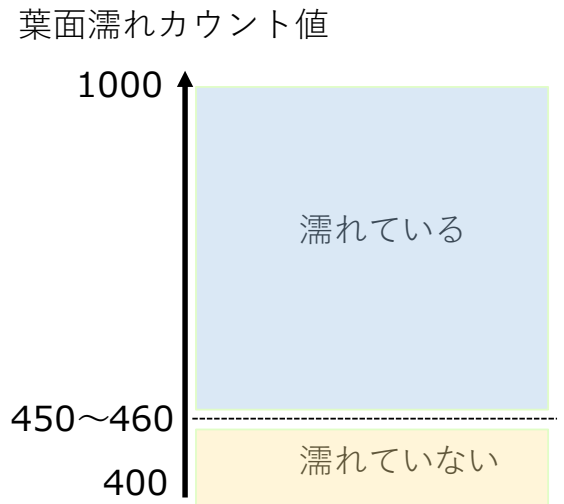
注意事項

長時間の使用により、センサーに埃や鳥の糞などが付着して乾燥時の出力を上昇させることがあります。定期的にセンサーをしめらせた柔らかい布できれいにふき取ることをおすすめします。

動作原理

葉面濡れセンサー

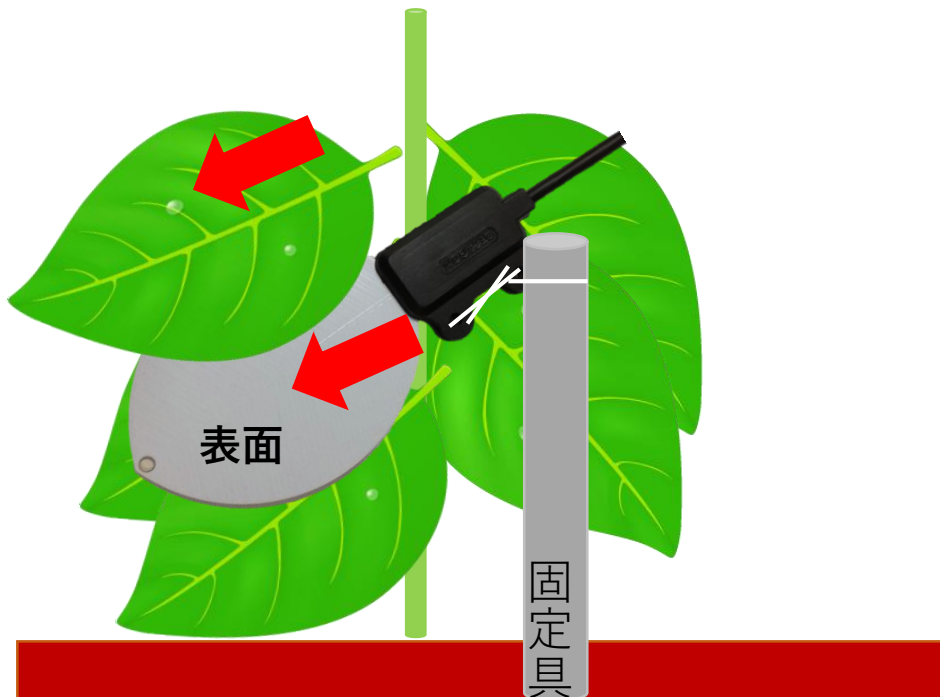
葉面濡れカウント値は、400~449 (raw counts)までを葉が乾いている(濡れていない)状態を示します。450~460を起点に、それ以上の値は、葉が濡れている状態を示します。450以上の値については、葉の濡れ具合に比例して値が高くなります。



設置方法

センサーの表面を表向きにし、測定したい葉とセンサーを同じ傾きに(葉に沿うように)設置します。
センサー付け根の黒い部分に開いている2つの穴に、紐や結束バンド、またはボルトで固定することができます。

※出来るだけ既存の葉と同じ環境になるように取り付けます



注1) 必要に応じて、固定具およびケーブル保護にコルゲートチューブを使用して下さい